

カリフォルニア Vol.18

スタイル

CALIFORNIA STYLE

クルマで旅する カリフォルニア・アドベンチャー

California-Cool 2022
最新CAスタイル・ハウス

Special Interview

アメリカを伝承したイラストレーター

鈴木英人



ROAD TRIP CALIFORNIA



Domestic Resort

RIVIERA ZUSHI MARINA

Special Thanks to RIVIERA ZUSHI MARINA <https://www.riviera.co.jp/zushi/>

日本で今のカリフォルニアを感じる
イチオシ最先端スポット。

逗子・三浦・葉山・下田を拠点に数多くのマリーナ事業を手掛けるリビエラグループ。中でも、約5万坪の敷地に本格的なヨットハーバーやホテル、レストラン・カフェ、イベント・ウェディング会場、リゾートマンション、テニスコートを備えているリビエラ逗子マリーナは都心から約60分とアクセスもよく、湘南の上質なリゾートライフを提供している大人に人気のマリーナリゾートだ。

一昨年、全室ハーバー＆富士山ビューのスイートルームを11室備えたマリブホテルとマリブファーム 逗子マリーナがオープンしたことで、数ある日本のリゾートの中でも、今のカリフォルニアの空気感を最も感じられるスポットとして生まれ変わった。

LA屈指のリゾート地マリブの空気感に含まれるマリブホテルは、全ての客室が50㎡以上の広さを誇り、まさにアメリカン・スタンダードなリラックスした時間を過ごせる。さらにカリフォルニア現地から日本初上陸のマリブファームを誘致していることで、本場カリフォルニア感が一層高められていることは言わずもがな。現地でも楽しめるライトかつ本格的なカリフォルニアフードをベースに、湘南近郊の新鮮な食材を用いた日本オリジナルメニューを味わうことで、食の楽しさもしっかりと提供されている。もちろんカリフォルニアを代表するブランドの一つであるロンハーマンのカフェや、イタリア本土の星付きレストランで修行を積んだシェフがもてなす、

レストランテAOのモダンイタリアンに舌鼓を打つのもいいだろう。

またホテル全室や開放的なテラスからは相模湾越しに富士山を望む極上の絶景が広がる。このロケーションを最大限に活かしたウェディングにも注目してみたい。三方が海に囲まれたチャペル、高く真っすぐに伸びるヤシの木とヨットハーバーが、非日常のウェディングを演出する。様々な結婚式のスタイルが脚光を浴びる昨今、大切な思い出を彩るための最高の選択肢の一つであることは間違いない。文字通り日本を代表する屈指のリゾート地「リビエラ逗子マリーナ」。この素晴らしい場所に新たに誕生した素敵なファンリティで、カリフォルニア時間を楽しんで欲しい。



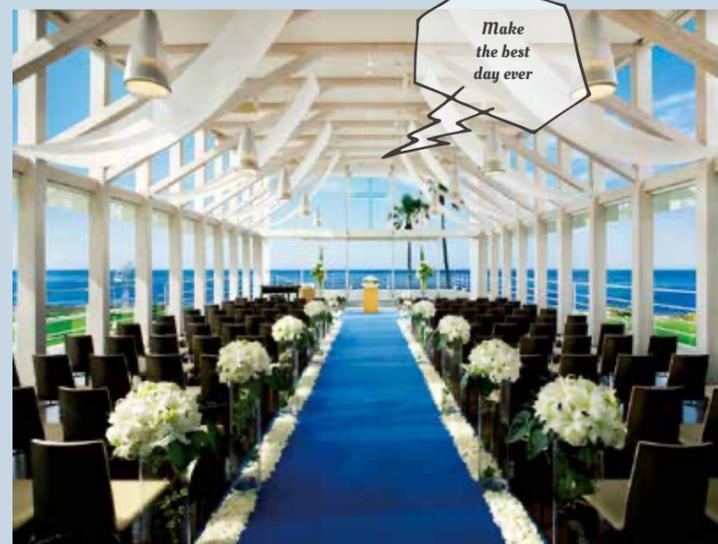
LAの著名デザイナー「アレクサンダー・デザイン」がインテリアを監修。ザ・マリブ・スイートは93㎡の部屋と51㎡のバルコニーで、何もしない贅沢な時間を過ごすことができる

TOPICS:

Domestic Resort



本誌でも度々紹介しているマリブファームが日本に初出店。Fresh Organic Localをコンセプトに、心と身体に優しい料理を提供する



Make the best day ever

約900本のパームツリー、豪華クルーザーやヨットが並ぶリビエラ逗子マリーナは、カリフォルニアを彷彿させる日本で唯一無二の場所。オーシャンフロントのチャペルやパーティー会場でのウェディングは、一生の思い出を忘れられない時間にしてくれる



三方を水で囲まれたマリブファームのウォーターテラス席で、喧騒を忘れ非日常を感じながら寛ぐ

SDGsに配慮した商品が並ぶマリブエシカルショップは2006年から取り組むリビエラ未来づくりプロジェクトの一環



愛犬と一緒にステイできる、ドッグフレンドリールームが用意されているのも、嬉しいサービス

希少な葉山牛や相模湾の魚介類など、地産地消にこだわり「季節を味わう」がコンセプトのレストランテAO



リビエラ逗子マリーナの敷地内には、スペシャルティストア「ロンハーマン」がプロデュースする、開放感溢れるロンハーマン カフェもあり、フードやスイーツを楽しめる

サンセットに溶ける富士山とパームツリーのシルエットが美しい。ここで過ごす時間は特別な一瞬になる

